

第22代目

あかぎひめ

ふちなひめ

赤城姫・淵名姫 大募集



赤城姫

賞金 **10万円** と旅行券(3万円分)

赤城神社に古くから伝わる赤城姫と淵名姫という美しい姫の名をかりて、昭和63年より、富士見の観光キャンペーンレディーとして各種イベントなどで活躍をしていただくようになって、もう21年になります。今年は22代目赤城姫・淵名姫の募集となります。



淵名姫

応募資格

前橋市に在住あるいは通勤・通学されている18歳（高校生はご遠慮ください）以上30歳未満の女性ならどなたでもご応募いただけます。

前橋市の観光振興のために協力していただける女性の応募をお待ちしています。

応募方法

裏面、応募用紙に必要事項を記入の上、あなたのお気に入りの写真を貼って下さい。

推薦でもかまいません。

お友達・彼女・姉妹でお嬢様にピッタリ！だと思ふ女性を推薦してください。（ただし、本人の承諾が必要です）

締め切り

平成21年6月30日（火）

審査

平成21年7月（後日連絡します）

前橋市富士見支所において面接審査を行い決定します。赤城姫・淵名姫に選ばれたおふたりは8月1日（土）の赤城山夏祭りの会場で発表します。

活動期間

平成21年8月1日（第21回赤城山夏祭り）から平成22年8月上旬（第22回赤城山夏祭り）まで

賞品・特典

◎赤城姫・淵名姫に選ばれた方には、賞金10万円と旅行券(30,000円分)の他、制服、帽子、靴等を贈呈。

◎応募者全員にはコンビニエンスストア共通プリペイドカード(3,000円分)と特産の清酒(名峰赤城)を贈呈。

◎推薦者にも富士見村特産の清酒(名峰赤城)を贈呈。

赤城姫・淵名姫の伝説

その昔、御殿での口論がもとで都を追われ、上毛野国にやってきた高野辺大将家成には、赤城姫と淵名姫というふたりの娘がおりました。ふたりの姫はたいそう美しく、また素直で誰もがあこがれておりました。家成一家は仲睦まじく幸せに暮らしておりましたが、ある日、娘たちの母は病に倒れ、この世を去ってしまいました。

家成は残された子どもたちを不敏に思い、新しい母を迎えました。やがて、後妻の柱御前との間にもふたりの子どもが授かりました。しかし、このふたりは赤城姫・淵名姫の美しさとは違い、似ても似つかぬ姿をしていました。

柱御前は赤城姫・淵名姫に対する家成の愛情とふたりの美しさに嫉妬し、時あらばふたりを亡きものにと考えておりました。そんなある日のこと、都よりの使者が一通の手紙を携えて家成

を訪ねました。それには「家成の罪を許し上毛野国の国司に任ずる」とあり、家成は国司任官のため大勢の従者を連れて都へと向かいました。

すると、柱御前はこの時とばかりふたりの姫の館を襲い、淵名姫を殺してしまいます。しかし、赤城姫は追手を振り切り、赤城の山へたどり着きました。

この知らせを聞いた家成は、上毛野国に兵を向け、柱御前を捕らえました。そして、姫を求めて赤城山に登り大沼の辺りまでくると、大沼の東岸より1羽の鴨が泳いできます。翼を広げたその背には、赤城姫と淵名姫の姿がありました。ふたりの姫は赤城大明神に召されて、赤城の神様になったのです。また、ふたりの姫を乗せた鴨は大沼の東に戻り、小鳥ヶ島になりました。

以来、赤城の神様をお願いした女性の願い事は必ず叶えられ、この神様をお願いすると美人の娘が授かると伝えられています。

お問い合わせ・お申し込み先

富士見観光協会（前橋市富士見支所内）

〒371-0192 前橋市富士見町田島240 TEL027-288-2211（内線301）<http://www.city.maebashi.gunma.jp/>